



建交労



2022年7月25日
 建交労神奈川県南支部
 2022年夏季闘争No.8
 2021年度推進ニュース⑳通算262号
 発行責任者 小島 茂

関東トラック協議会第18回定期総会開催 学習会は京王新労の佐々木委員長が講演

建交労関東トラック協議会は7月24日に東京都北区にある北とびあで第18回定期総会を開催しました。

協議会幹事会は開会冒頭で新型コロナウイルスのオミクロン亜種BA.5によって連日過去最大の感染者数が報告される第7波なかで感染防止に最大限の注意を払いながら開催に踏み切ったと報告しました。参加は東京11人、埼玉6人、神奈川4人、群馬1人、栃木1人、加えて来賓として全国トラック部会の鈴木事務局長、東京都本部の遠藤書記長が参加し合計25人でした。



18回定期総会に参加をした仲間による記念撮影



写真は上から奥貫議長、鈴木全国事務局長、遠藤都本部書記長、上村事務局長、佐々木京王新労委員長(左側)と大島副議長

主催者を代表して挨拶を行なった奥貫議長は、コロナ禍での困難な状況下でたかひを強いられてきた運動に触れて、とりわけ減少が続いている組織の拡大・強化について強調し参加者の奮起を求めました。

つづく来賓の挨拶では全国トラック部会の鈴木事務局長が、改善基準告示の見直し作業を行う厚労省の労働時間等専門委員会トラック作業部会では、改善基準告示のさらなる規制緩和を経営側が声高に主張していることを報告して職場・地域からトラック部会のたたかひを強化するよう訴えました。

東京都本部の遠藤書記長からは都本部書記長として首都圏トラック集団交渉に関わってトラック部会運動の重要性や京王新労組のたたかひへの支援を訴えるとともに、さらなる連帯と闘争強化を呼びかけました。

議案の報告・提案は、上村事務局長が過去1年間の活動経過と運動の特徴などを報告するとともに新年度の課題と方針ではコロナ禍を克服して改めて5,000人協議会の目標追求と組織強化、トラック職場の労働と経営環境改善に向けて全力を上げること、その具体的な行動などを提案しました。

その後の討論では、東京、埼玉、神奈川、群馬、栃木の順で各県の活動や特徴的なとりくみの報告、新年度に向けた決意などが述べられました。討論終了後にすべての議案が採択され若干の休憩をとって学習会に移りました。

学習会は大島副議長が進行、京王新労組委員長の佐々木仁さんが“京王新労組の争議から何を学ぶ”のテーマで講演。1983年に京王電鉄に入社した佐々木さんは、バス部門の合理化がはじまるなかで京王電鉄労組の中央委員となり合理化反対に立ち上りますが、合理化を丸呑みにする京王電鉄労組は佐々木さんを排除、佐々木さんは少数の仲間と2001年に建交労に加入、大企業の激しい差別攻撃にも抗して影響を広げてきたことなどを熱く語りました。

【新年度役員】(敬称略) 議長：奥貫岳史 副議長：大島信雄 事務局長：上村誠
 幹事：今成結、鈴木洋平(新)、金崎美佐夫、桜井康雄、石井勝巳 会計監査：早船吉一、稲橋晋平(新)

内閣総理大臣 様
衆議院議長 様
参議院議長 様

憲法改悪を許さない全国署名

行き詰まって相次いで政権を投げ出した安倍・菅政権をひきついだ岸田文雄政権は、2021年の総選挙で改憲発議に必要な3分の2の議席を手に入れました。岸田首相は中国や朝鮮を念頭に違憲の「敵基地攻撃能力の保有」をとえ、歴代政権がかろうじて維持してきた防衛費の対GDP比1%以内の原則をも放棄して2%以上を主張するなど、米国をはじめ欧米諸国との軍事同盟を強化し、「戦争する国」づくりを進め、アジアの緊張を高めています。しかし、この道の障害になるのが憲法9条など、日本国憲法の理念です。

改憲派は次の参議院選挙をにらみながら、9条に自衛隊を書き込むこと、緊急事態条項を創設することなどを内容とする自民党改憲4項目案をベースにして、国会の憲法審査会での改憲案づくりを急ごうとしています。

私たちは国会が改憲の発議をすることを許さず、すべての戦争に反対し、憲法を生かし、平和と民主主義、人権、環境、暮らし・医療・公衆衛生向上などを実現する政治を求めます。

【請願事項】

- 1、自民党が提唱する憲法9条に自衛隊を書き込むことなどの改憲4項目に反対します。
- 2、憲法を生かし、平和と民主主義、人権、環境、暮らし・医療・公衆衛生などの向上を実現する政治を求めます。

名 前	住 所

※いただいた署名は国会請願と首相への要請以外には用いません。

呼びかけ団体 9条改憲NO! 全国市民アクション

ホームページ: <http://kaikenno.com> メールアドレス: info@kaikenno.com

ツイッター twitter.com/no9kaikenno
インスタグラム [instagram.com/9jyokaikenno/](https://www.instagram.com/9jyokaikenno/)
フェイスブック [facebook.com/kaikenno/](https://www.facebook.com/kaikenno/)



連絡先

- 戦争をさせない1000人委員会 (☎03-3526-2920)
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2-11 連合会館内
- 憲法9条壊すな! 実行委員会 (☎03-3221-4668)
〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3-3-3 太陽ビル402市民ネット内
- 戦争する国づくりストップ! 憲法を守り・いかす共同センター (☎03-5842-5611)
〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館4F
- 九条の会 (☎03-3221-5075)
〒101-0065 東京都千代田区西神田2-5-7-303

取り扱い団体

内閣総理大臣 殿

唯一の戦争被爆国 日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名

いま世界では、核兵器禁止条約の発効から核兵器廃絶へとすすもう、という声広がっています。多くの国ぐにが被爆者の声に耳を傾け、「核兵器による安全」ではなく、「核兵器のない世界による安全」を選択し、核兵器禁止条約を支持し、参加しつづけます。

唯一の戦争被爆国である日本政府は、核兵器廃絶の先頭に立たなければなりません。

国内の世論調査でも、日本が核兵器禁止条約に参加すべきとの声は7割を超えています。日本政府がこの被爆者と国民の声に誠実に応えることを訴えます。

私は、日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求めます。

名 前	住 所	募 金

この署名は、2020年10月29日、被爆者をはじめ各界・各層の代表126氏のおよびかけによりスタートしました。日本政府に提出します。ご記入いただいた個人情報は、この要請目的以外には使用しません。

【取扱団体】

連絡先：署名事務局（原水爆禁止日本協議会）
〒113-8464 東京都文京区湯島2-4-4
電話：03-5842-6031